



平成 27 年 4 月 23 日

各 位

会社名 日清紡ホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 河田 正也  
(コード番号 3105 東証、名証各第一部、札証、福証)  
問合せ先 取締役 執行役員 奥川 隆祥  
事業支援センター長

### 当社株式の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）の非継続について

当社は、平成24年6月28日開催の第169回定時株主総会において、「当社株式の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）継続の件」（以下「本プラン」といいます。）を株主の皆様にご承認頂き、買収防衛策を継続導入いたしました。

本プランは、平成27年6月26日開催予定の第172回定時株主総会（以下「本定時株主総会」といいます。）終了の時をもって有効期間が満了しますが、当社は、本日開催の当社取締役会において、有効期間の満了をもって本プランを継続しないことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社は、「株式会社の支配に関する基本方針」を定め、基本方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組みとして、当社株式の大規模な買付行為が行われる場合に、株主の皆様適切に判断頂くために必要な情報や時間を確保することにより、当社の企業価値、ひいては当社株主共同の利益（以下単に「株主共同の利益」といいます。）の維持・向上を図ることを目的に、平成18年6月29日開催の第163回定時株主総会で買収防衛策の導入をご承認頂き、その後の定時株主総会で二度にわたり継続導入をご承認頂き現在に至ります。

この間、当社は、「環境・エネルギーカンパニー」として、社会・市場・ステークホルダーの皆様から一層評価され信頼して頂ける企業を目指し、グローバル経営とキャッシュフロー経営をベースに、「企業公器」、「至誠一貫」、「未来共創」の企業理念の浸透やコーポレートガバナンスなど組織文化の質的向上と、ROE指標重視の収益力向上や株価重視の経営など数値・業績面の量的成長の実現にむけ取り組んでまいりました。

現在は、「無線・エレクトロニクス」、「車載・機器」、「素材・生活関連」、「新エネルギー・スマート社会」を戦略的事業領域に据え、戦略目標である2017年度売上高6,000億円、ROE9%超の達成にむけ、着実に歩みを進めています。更には、次期長期戦略目標として掲げ

る 2025 年度売上高 1 兆円、ROE12%超の達成にむけ、「環境・エネルギーカンパニー」グループとしての将来像と大きな方向性を見据えつつ、「既存事業の強化」、「研究開発の成果発揮」、「M&A の積極展開」を成長の 3 本柱として、たゆまぬイノベーションを原動力に前進を続けます。

こうした状況のもと、当社は、金融商品取引法の整備などによる買収防衛策を取り巻く環境の変化や機関投資家の声なども参考にしながら、有効期間が満了する本プランの取扱いについて慎重に検討してまいりました。

その結果、中長期の戦略目標の達成にむけた施策を着実に実行することにより、持続的な成長を確保し、株主の皆様をはじめ、広く社会・市場・ステークホルダーの皆様からの社会的信頼にこたえていくこと、並びにコーポレートガバナンスの更なる整備・強化に取り組むことこそが株主共同の利益の確保・向上につながるものであり、本プランの継続は必要不可欠なものではないと判断し、有効期間が満了する本定時株主総会終了の時をもって本プランを継続しないことを決議いたしました。

なお、当社は、本プランの有効期間満了後も引き続き、当社株式の大規模な買付行為や買付提案を行おうとする者に対しては、関係諸法令に従い、大規模買付行為の是非を株主の皆様に適切に判断頂くための必要かつ十分な情報の開示を求め、あわせて当社取締役会の意見等を開示するとともに、株主の皆様に検討頂くために必要な時間の確保に努めるなど、適切な措置を講じてまいります。

当社は、今後とも、株主共同の利益の確保・向上に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご支援を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上